

## 自主防災組織の活動事例について

自主防災組織とは、大規模な災害による被害を軽減するため、「自分の命は自分で守る。自分たちの地域は自分たちで守る」という自助・共助の考えの下、住民が互いに助け合い、自主的に防災活動を行う組織のことで、各地域の自主防災組織は、その地域で相互に協力し合いながら、減災につなげる共助の中核を担っています。

留萌市では現在、多くの町内会・自治会で自主防災組織が設置されており、各町内会・自治会ごとに「もしもの時」に備え、日常的に防災に関する活動を行っています。

今回は、市内町内会・自治会の自主防災組織の活動について紹介します。

### ●自由ヶ丘親交会（平成 22 年結成）

定期的に防災訓練を開催して消火訓練や炊き出し訓練などを行っているほか、令和元年度から留萌市が開始した「自主防災組織の地域防災活動に対する助成制度」を活用し、防災備蓄食料を



購入しました。

### ●峠下町内会（平成 18 年結成）

市役所職員が出前トークを行う「お茶の間トーク」を活用し、市防災担当職員と防災について意見交換を実施したほか、自主防災組織独自で避難路マップの作成を行いました。



### ●双葉親睦会（平成 26 年結成）

結成当初から毎年防災訓練を開催し、避難訓練のほか、段ボールベッドや災害用けん引式車いす補助装置などの防災資機材体験、AED の使用方法の確認などの多くの防災に関する取り組みを行っています。

また、「自主防災組織の地域防災活動に対する助成制度」を活用し、防災ベストを購入しました。

### ●塩見町町内会（平成 30 年結成）

津波避難ビルまでの避難経路を確認したほか、市防災担当職員による防災備蓄食料品と防災資機材の説明をはじめ、留萌警察署警備課職員による地震や津波を想定した災害図上訓練などに取り組み、災害に対する意識向上を図りました。



自主防災組織の結成方法や助成金制度については、下記へお問い合わせください。

問 市・総務課 ☎ 56-5005